

平成29年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

全体の概要

新今宮	小学校	児童数	50
-----	-----	-----	----

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.20	21.38	41.38	47.54	52.64	9.40	140.58	21.00	56.65
大阪市	16.49	19.23	32.34	39.54	49.98	9.37	149.36	22.61	52.79
全国	16.51	19.92	33.15	41.95	52.24	9.37	151.71	22.53	54.16
女子	14.67	17.54	41.50	42.65	32.65	10.23	119.13	12.26	51.36
大阪市	16.18	18.20	37.06	37.88	39.64	9.60	143.32	14.07	54.58
全国	16.12	18.81	37.43	40.06	41.62	9.60	145.47	13.94	55.72

結果の概要

男子は上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルランで大阪市並びに全国平均をこえていた。結果体力合計点も全国平均より2ポイント以上高かった。

女子は長座体前屈と反復横跳びの2項目のみ大阪市並びに全国平均をこえていた。

この結果について、体格集計では、男子は身長、体重ともに全国、大阪市平均より低い、肥満度では高度肥満、中等度肥満が0ポイントで、やせ、高度やせも0ポイント。女子は身長、体重とも大阪市並びに全国平均より高く、肥満度では中等度肥満が大阪、国の3倍近くいる。ただし、やせ、高度やせは0ポイント。

総じて運動量が足りないという印象が強い。周辺地域には公園も少なく体を思い切り動かせる場が少ない。だからこそ、学校で動かすことが重要となる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

結果で見たように、男子と女子で大きく結果が異なっている。行動様式の違いだけでは説明できないので、それぞれの結果にあわせた取り組みを進める必要があるだろう。中学校なら、体育は男女別で進められるところだが、小学校の体育的活動の中で、男女同じような運動では、この両者の違いを克服するのは難しい。

周辺地域には子どもたちが思い切り体を動かせる公園は少ないが、本校には大阪市としては大きな運動場がある。動きたい子どもたちは毎日早朝から登校してきてはサッカーをしている。休み時間にもかなり多くの児童が運動場で元気に遊んでいる。この状況が続く限り、徐々に運動量も増え、運動機能も向上してくるものと考えているが、体育の時間を中心に走、跳、投について更なる工夫を重ねていきたい。児童が体を動かしたくなる取り組みも増やしていきたい。

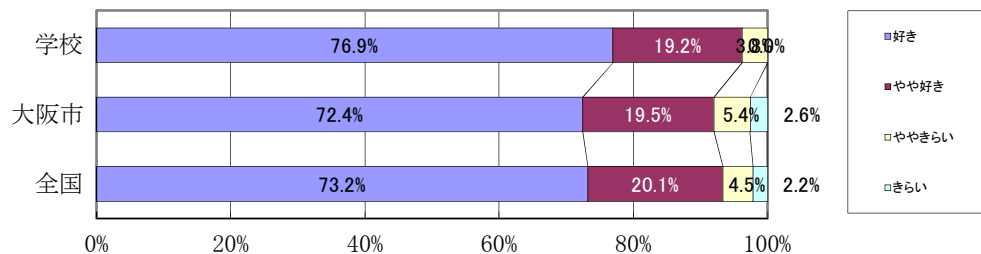
運動やスポーツについて（男子）

質問
番号

質問事項

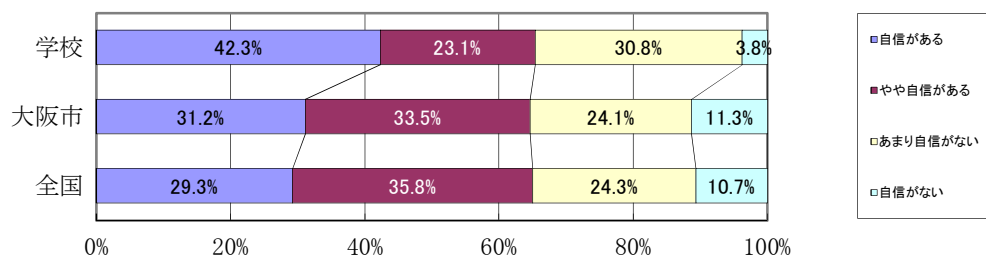
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



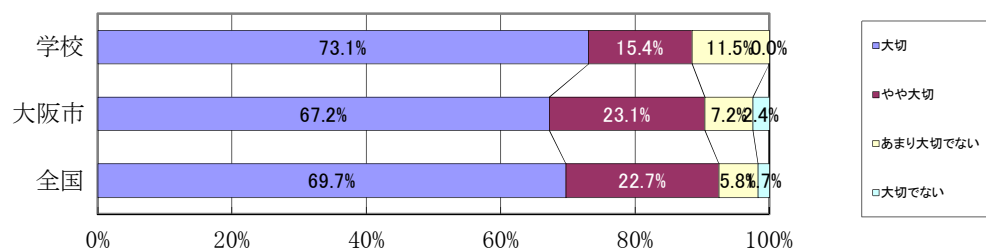
3

自分の体力・運動能力に自信がありますか



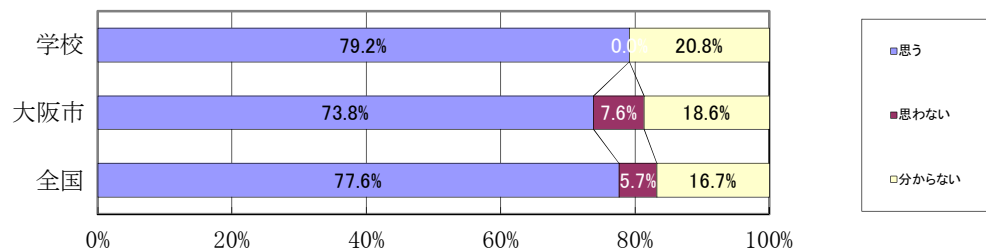
4

あなたにとって運動やスポーツは大切なものですか



5

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間をもちたいと思いますか



成果と課題

運動やスポーツは好きで、自分の体力・運動能力に自信を持っている児童が多い。運動やスポーツは大切なものであると思っていて、中学校に進んでも自主的にやりたいと思っている。肯定的回答をしている児童はともかく、自信がない児童、中学生になっても自主的に運動しようか迷っている児童をどう取り组ませるかの工夫が必要である。

今後の取組

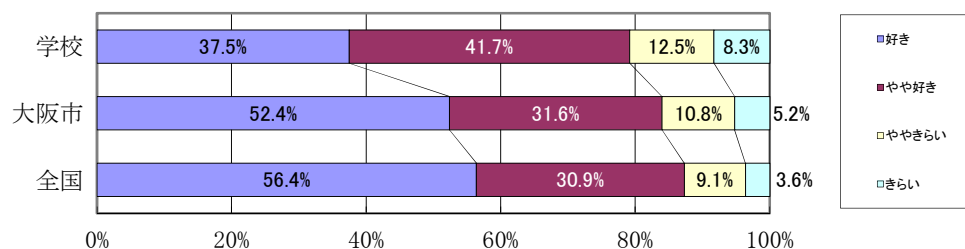
男子は全体的に見て運動・スポーツに肯定的なので、そうでない児童を中心により運動、スポーツに親しめる環境づくりを進めることで、全体の体力・運動能力の向上が図れると推察する。
小中一貫校の特色を生かして、運動系の部活での頑張りを引き出したい。

運動やスポーツについて（女子）

質問 番号	質問事項
----------	------

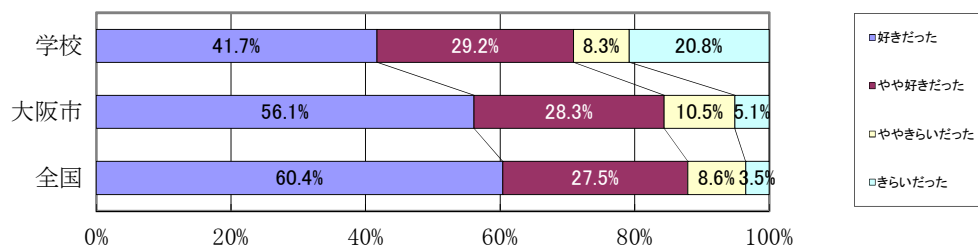
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



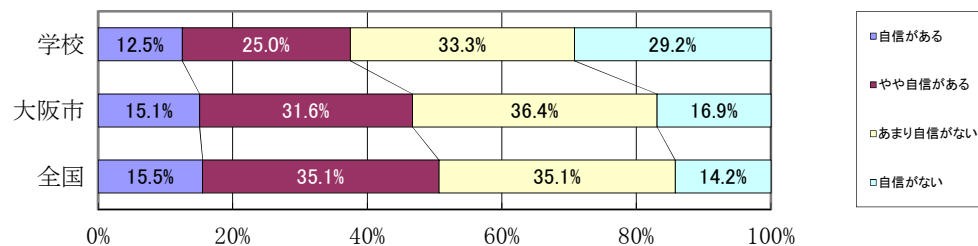
2

小学校入学前は体を動かす遊びが好きでしたか



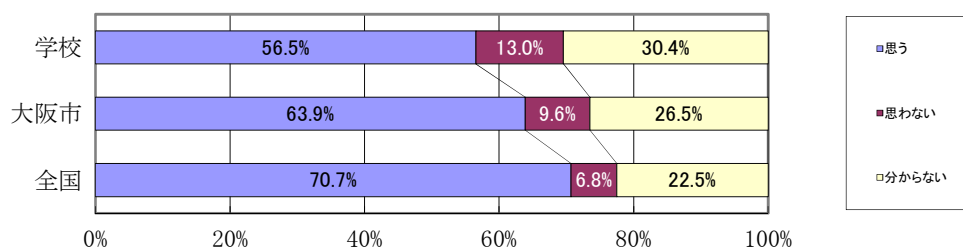
3

自分の体力・運動能力に自信がありますか



5

中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか



成果と課題

全体として、運動・スポーツに対してネガティブな姿勢の児童が多いと思われる。入学前の遊びでも体を動かすことを好まなかった層がいるようだし、体力・運動能力に自信もない。中学校に行っても、自主的に運動やスポーツをしようと思っている児童も少ない。

今後の取組

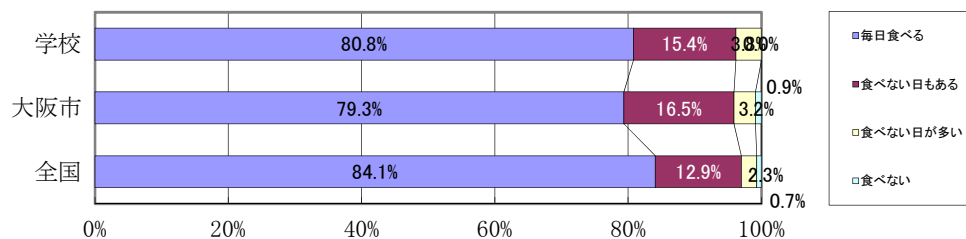
学校の周辺に思い切り体を動かせる環境が少ないので、校内で少しでも多く体を動かし、その楽しさを実感できるような体育授業や休み時間の過ごし方の工夫を更に進めていく。

ふだんの生活について（男子）

質問 番号 質問事項

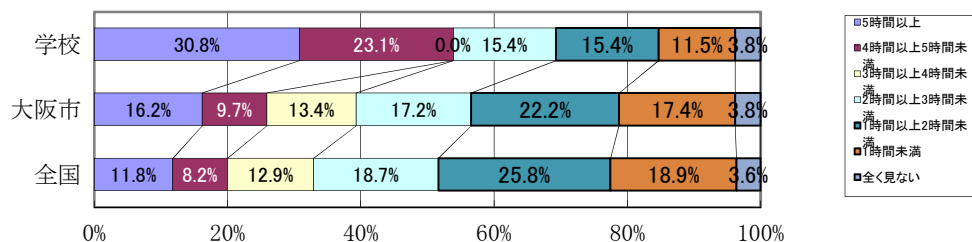
7

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日もふくめます)



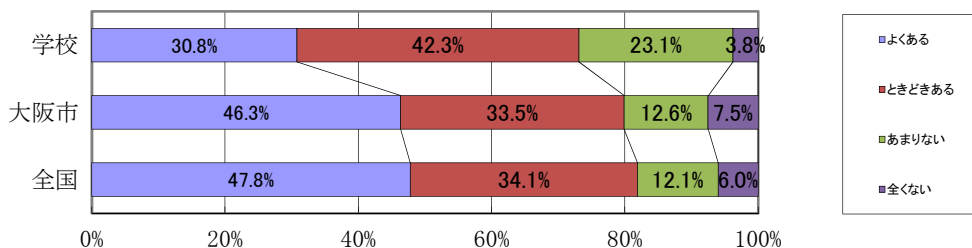
10

普段の平日について、学校から帰ったあと一日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



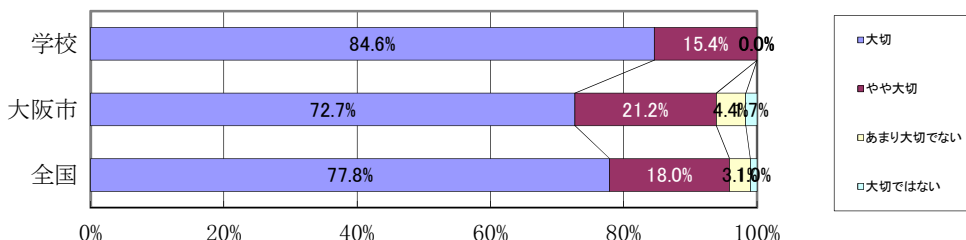
13

放課後や学校が休みの日に、運動部や地域のスポーツクラブ以外で、運動やスポーツをすることがありますか



16

あなたが健康であるために、運動はどのくらい大切だと考えていますか。



成果と課題

朝食については想定していたよりしっかりとれている。ただし、ゲーム機等で遊ぶ時間は国・市と比べると非常に長く、結果として、その分の時間だけ学習時間が削られているようだ。休日には体を動かすより、テレビやゲームをしているのだらうと推察される。でも、健康のために運動は大切だとは思っている。

今後の取組

運動が大切であると肯定的に回答しているのは100%なので、きっかけと環境を整えれば、まちがいなく体を動かす方向に動くはずである。休み時間、放課後等の過ごし方を工夫して、少しでも体を動かすようにもっていきたい。

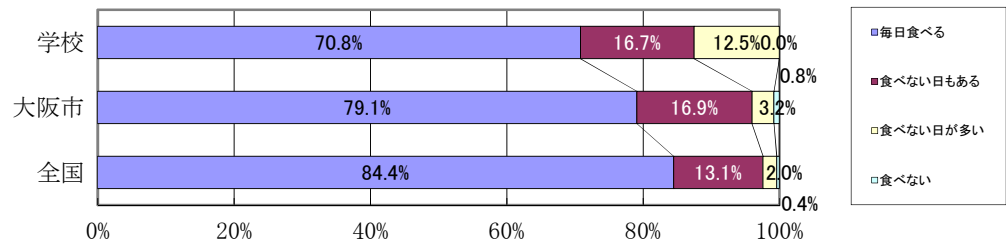
ふだんの生活について（女子）

質問
番号

質問事項

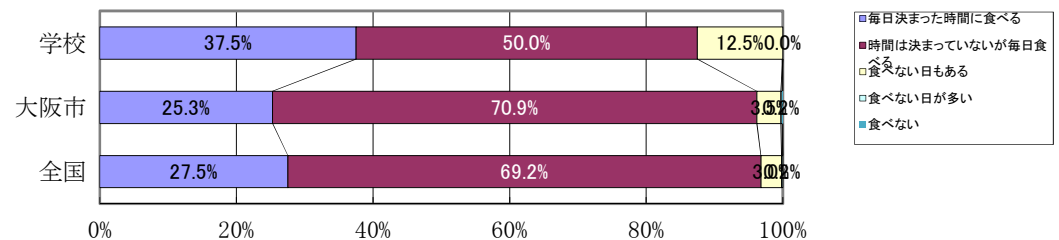
7

朝食は毎日食べますか
(学校が休みの日もふくめます)



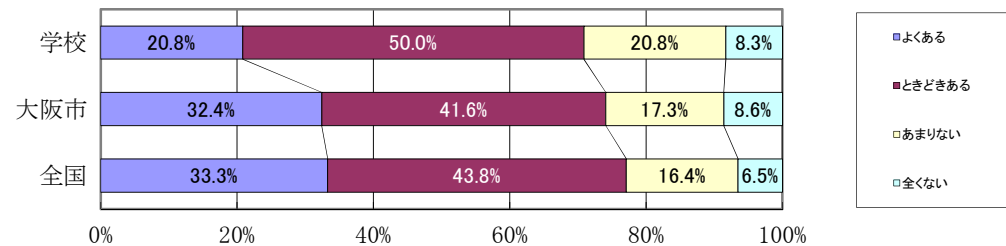
8

夕食は毎日食べますか(学校が休みの日も含めます)



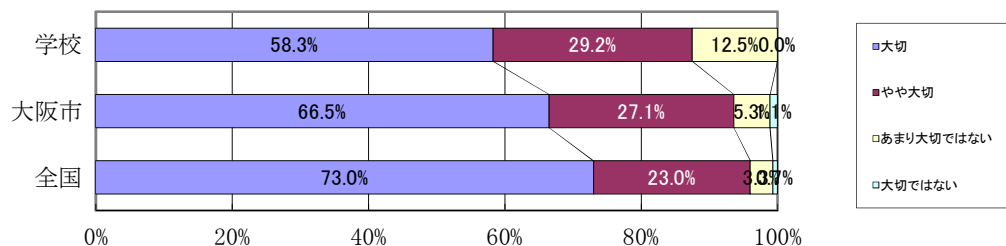
13

放課後や学校が休みの日に、運動部や地域のスポーツクラブ以外で、運動やスポーツをすることがありますか



16

あなたが健康であるために、運動はどのくらい大切だと考えていますか



成果と課題

朝食、夕食をきちんと食べられていないのに肥満気味な児童が多いというのは体を動かすのが少ないのみならず間食の問題もあるのか。これについては別の調査が必要になるだろう。自主的に体を動かそうと言うのも少なく、健康のために運動が大切だとも思っていない。全体的に健康・運動という生活から逃れようとしているように窺える。

今後の取組

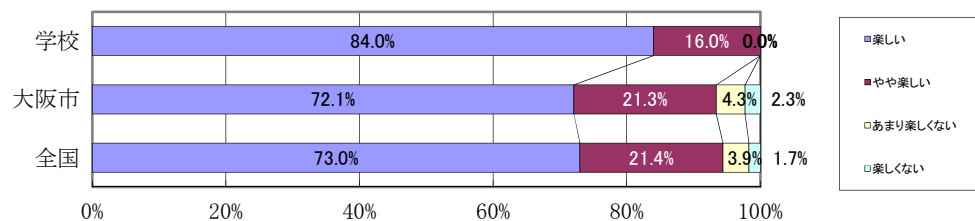
基本的生活習慣の大切さ、生活リズムや食事、運動などについての基本的な知識について理解させるとともに運動は軽いものから体を動かす楽しさを体感させていくことが必要である。

体育の授業について（男子）

質問番号 質問事項

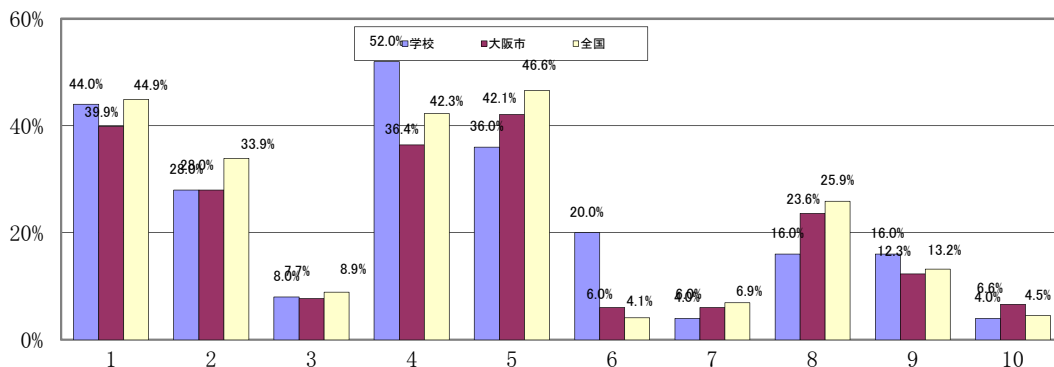
19

体育の授業は楽しいですか



24

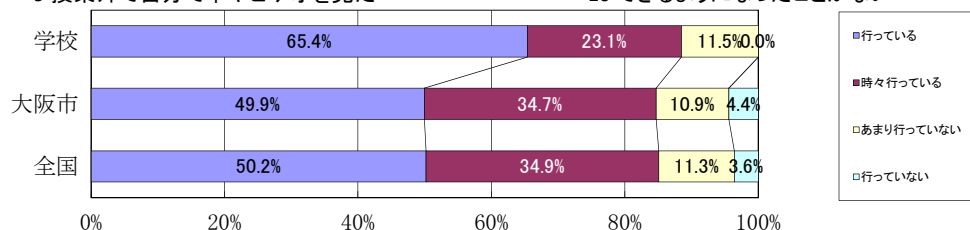
これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



- 1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
 2 授業中自分で工夫した
 3 自分に合った場やルールが用意された
 4 先生や友達のまねをしてみた
 5 友達に教えてもらった
 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
 7 授業外で先生に教えてもらった
 8 授業外で自分で練習した
 9 授業外で自分で本やビデオを見た
 10 できるようになったことがない

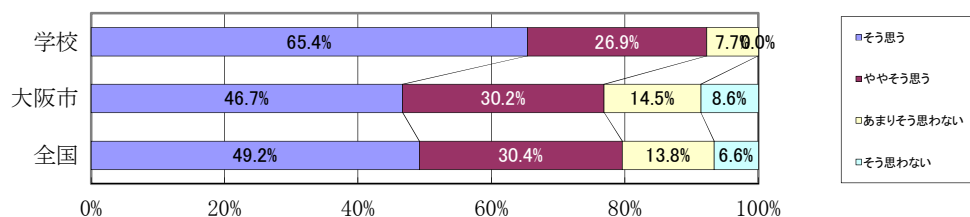
23

普段の体育の授業では、友だち同士やチームの中で話し合う活動を行っていますか



28

今、体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか



成果と課題

体育の授業は楽しいと肯定的な回答は100%。できないことも先生や友だちのまねをして、どんどん取り入れていく力もある。それ以外でもチームや仲間と話し合い、より良い方向へ進めようと前向きである。何より、体育は将来役に立つと思っているポイントも非常に高い。

今後の取組

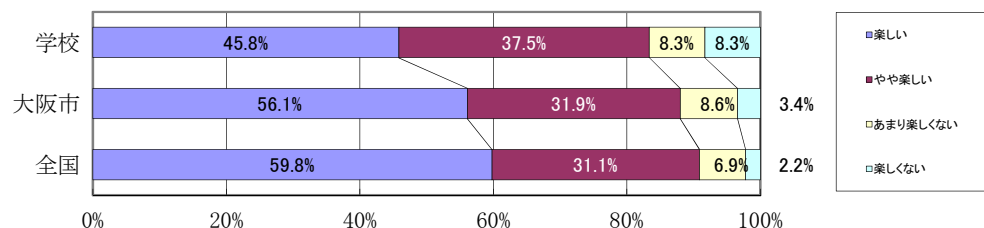
体を動かすのがとても好きやうだし、仲間と話し合う、より良くできるように話し合うこともできる。チームプレイを中心とした競技をしっかりと取り入れれば、自分たちで工夫しながらうまくできるようになるはずである。児童による積極的に取り組む力を活用したい。

体育の授業について（女子）

質問 番号 質問事項

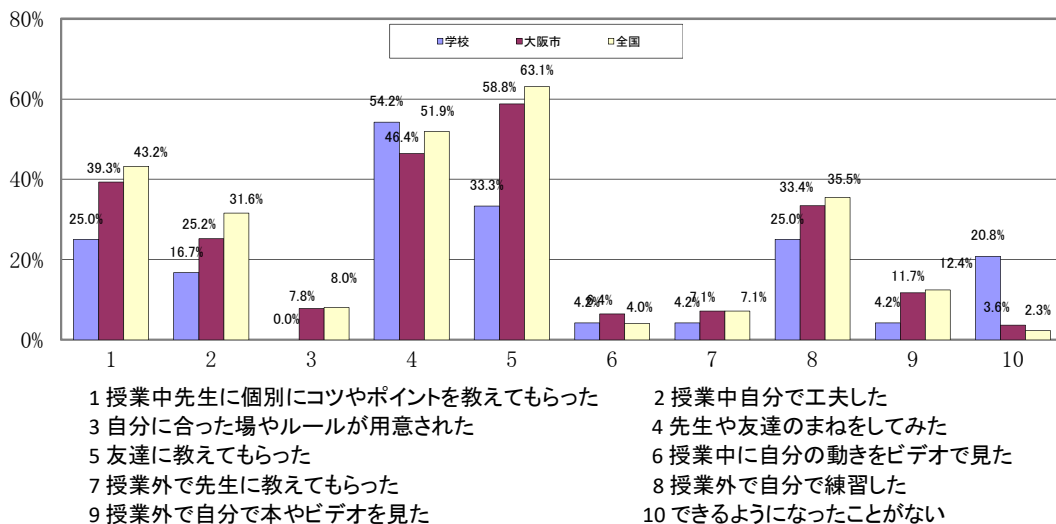
19

体育の授業は楽しいですか



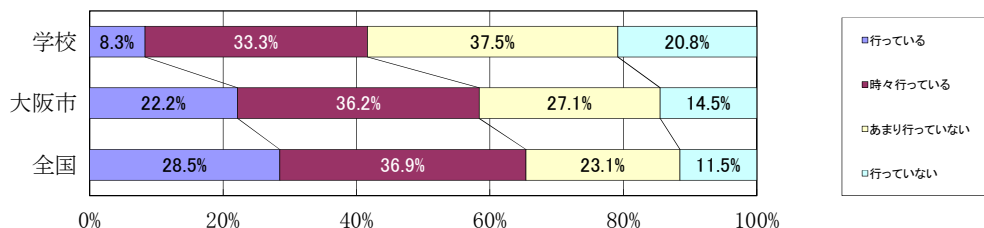
24

これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



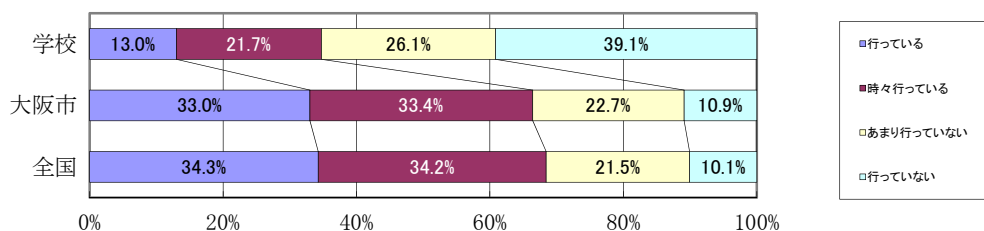
21

普段の体育の授業では、授業の最後に今日学んだ内容を振り返る活動を行っていますか



26

普段の体育の授業で、自分に合った練習や場を自分なりに選んで活動することを行っている



成果と課題

体育の授業を楽しみと思えない児童が一定居て、体育で「できるようになったことがない」という児童も2割いる。体育の授業では「今日の振り返り」がないと感じている児童も多く、自分に合った練習などもできていないと思っている。総じてネガティブな雰囲気が漂っている。

今後の取組

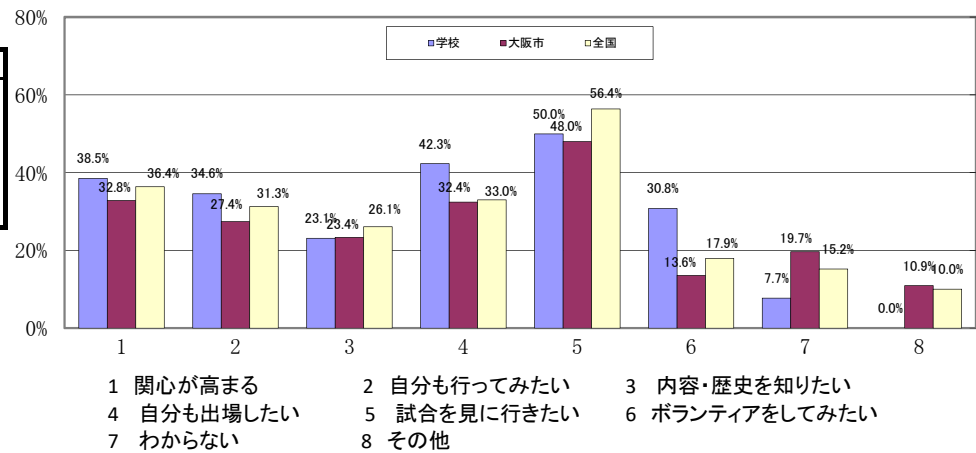
体育に対する苦手意識が非常に高いようで、自信もない。なので、ひとり一人に丁寧に指導していく必要がある。スモールステップで「できる」を積み重ねていながら、同時に「自信」も積み重ねて行くことから始める必要がある。

その他（男子）

質問 番号	質問事項
----------	------

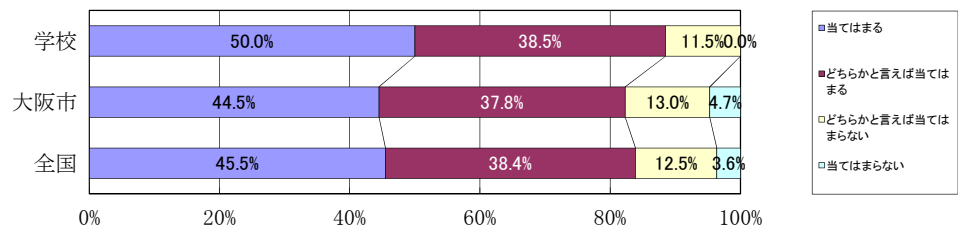
30

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



32

難しいことでも失敗を恐れ
ないで挑戦している



成果と課題

オリンピック・パラリンピックについては、試合を見に行きたい、自分も出場したい、ボランティアをしてみたいと、前向きな回答が多い。難しいことでも失敗を恐れず挑戦するについては、全国、大阪市と比べても高い結果が出ている。本校のテーマの一つである「チャレンジ」が根付いたのなら良いのだが。

今後の取組

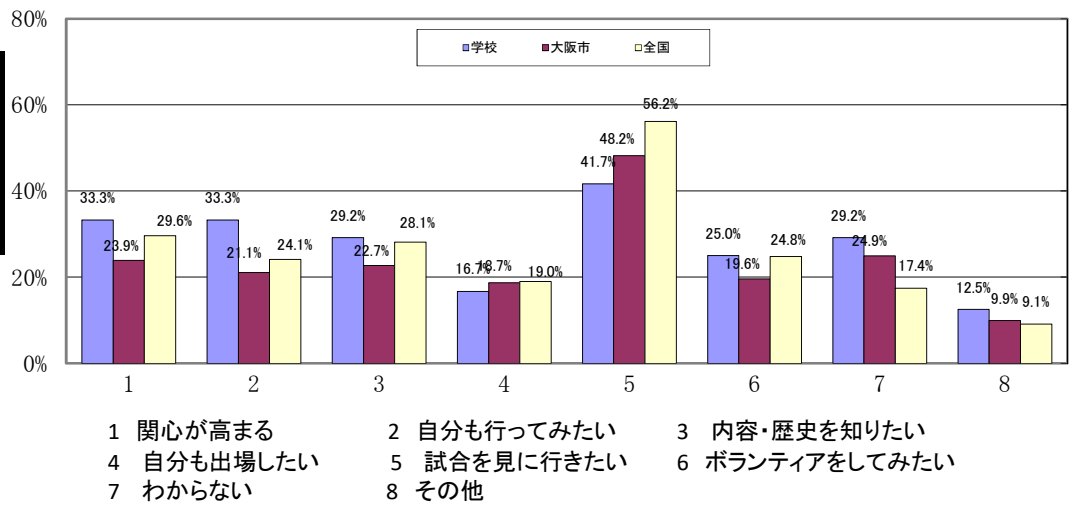
オリンピック・パラリンピックについて、より啓発を進める。また「チャレンジ」についても、いろいろと挑戦する中で、成功体験を積み重ね、自己肯定感を高めたい。

その他（女子）

質問 番号 質問事項

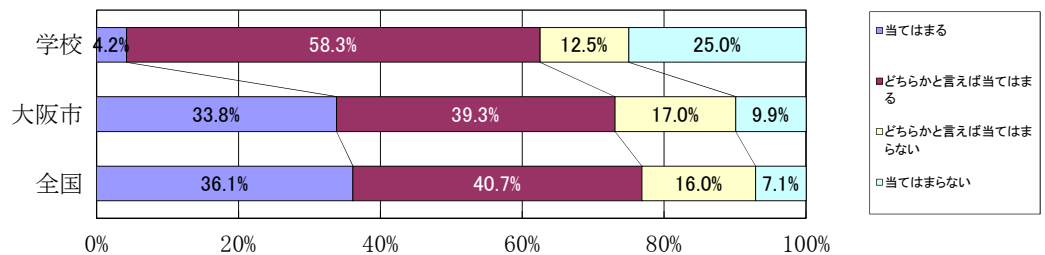
30

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



33

自分には良いところがあると思う



成果と課題

オリンピック・パラリンピックへの関心は、試合を見に行きたい、自分も行ってみいたいなど一定興味を持っているようだ。

「自分には良いところがある」では、「当てはまる」が非常に低く、大阪市の1/8である。肯定的回答で見ても、全国、大阪市平均より10ポイント以上低い。自己肯定感が非常に低い。

今後の取組

全体的に運動が苦手な意識の強い、女子であるが、オリンピックなどを引き金にスポーツに前向きになれば良いのではないかと考える。うまく繋げていきたい。

総じて自己肯定感が低いようなので、学校生活全体の中で成功体験を積み重ね、自信を持たせたい。